



報道機関 各位



記者発表資料
令和4年4月6日（水）
問い合わせ先：秘書課
課長：星野
担当：高山、増田、日比野
電話：829—1014
内線：2058

さいたま市文化賞・市政功労賞の受賞者が決定しました

1 文化賞

本市では、文化芸術・スポーツの分野において顕著な功績のあった市民又は市にゆかりのある方々に「さいたま市文化賞」を贈呈しています。

このたび、栗木京子氏、鶴見清一氏、西野朗氏、森士氏を受賞者として決定しました。

受賞者とその功績（順不同、敬称略）

・栗木 京子 歌人

歌集「けむり水晶」でちょうくうしょう 遼空賞に輝き、平成26年に紫綬褒章を受章。

また、現代歌人協会の理事長を務めるなど、現代短歌界の発展に多大な貢献を果たされている。

本市では、歌壇に新風をもたらす歌人を表彰し、新人歌人の発掘・支援を行う「現代短歌新人賞」の選考委員を17年間にわたり務め、現代短歌の普及啓発及び後進の育成に尽力。文化芸術の振興に大きく寄与された。

・鶴見 清一 さいたま市文化協会理事長

岩槻音楽文化連盟会長、さいたま市文化協会理事長を歴任。「文化フェスティバル」や「さいたま国際芸術祭2020」の連携プロジェクトの開催等を通じ、市内文化団体の協調を図るなど、文化芸術振興の先導者として活躍。

また、さいたま国際芸術祭実行委員会委員、さいたま市文化芸術都市創造審議会委員を務めるなど、本市の文化芸術の振興・発展に大きく寄与された。

にしの あきら
・西野 朗 元サッカー選手、指導者

さいたま市出身。県立浦和西高等学校、早稲田大学、日立製作所で活躍。

引退後は、日本代表やJ 1 リーグクラブの監督を歴任。アトランタオリンピックでのブラジルからの歴史的な勝利や、2018FIFA ワールドカップでのベスト 16 進出など日本中を盛り上げ、令和元年には日本サッカー殿堂に掲額。

日本サッカー界全体の底上げと活性化に大きく寄与された。

もり おさむ
・森 士 野球指導者

さいたま市出身。浦和学院高等学校硬式野球部監督として通算 22 回甲子園へ出場。平成 25 年の選抜高等学校野球大会では、埼玉県勢 45 年ぶりとなる優勝に導いた。

また、本市の「夢工房未来くる先生ふれ愛推進事業」や埼玉県障害者スポーツ協会が主催する「ふれあい野球教室」への参加などを通じ、スポーツ振興とスポーツを活用したまちづくりに大きく寄与された。

2 市政功労賞

本市では、市の公益の増進に寄与され、又は永年にわたり市政の振興発展に尽力され、その功績が特に顕著である方々に「さいたま市政功労賞」を贈呈しています。

このたび、14 名・3 団体の方々を今年度のさいたま市政功労賞の受賞者として決定しました。受賞者氏名等については、別紙のとおりです。

3 さいたま市表彰式

- | | |
|---------|----------------------------|
| (1) 日 時 | 令和 4 年 5 月 1 日 (日) 午前 10 時 |
| (2) 会 場 | ホテルブリランテ武蔵野 |

令和4年度 さいたま市政功労賞 受賞者一覧

(敬称略・順不同)

No.	表彰区分	氏名・団体名	
1	コミュニティ功労	西山 繁夫	さいたま市ボーイスカウト協議会会長
2	コミュニティ功労	井上 久雄	前 さいたま市ボーイスカウト協議会会長
3	コミュニティ功労	霜田 豊	元 さいたま市ボーイスカウト協議会会長
4	コミュニティ功労	八木 佳容子	さいたま市ガールスカウト連絡協議会代表
5	コミュニティ功労	辻内 啓子	交通安全保護者の会（母の会）岩槻支部長
6	コミュニティ功労	田中 喜久男	桜区自治会連合会会長
7	保健・福祉功労	金子 久章	一般社団法人と野歯科医師会会長
8	消防・防災功労	稲垣 政行	元 さいたま市消防団分団長
9	教育・文化・スポーツ功労	岡野 育広	さいたま市PTA協議会会長
10	教育・文化・スポーツ功労	佐久間 健志	さいたま市PTA協議会西区連合会会長
11	教育・文化・スポーツ功労	石川 淳	さいたま市PTA協議会見沼区連合会会長
12	教育・文化・スポーツ功労	溝口 景子	さいたま市PTA協議会中央区連合会会長
13	教育・文化・スポーツ功労	山崎 栄慈	さいたま市PTA協議会桜区連合会会長
14	寄附功労	中山 とき子	
15	寄附功労	アイルグループ	
16	寄附功労	株式会社榎倉住宅	
17	寄附功労	株式会社ハーベス	